

白井市立桜台小学校・桜台中学校 給食のあり方検討委員会

白井市教育委員会

日時 令和2年12月17日 9時半から

場所 白井市役所東庁舎101会議室

次 第

- ※ 委嘱状及び任命状交付
- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 検討委員会の目的と役割
- 5 委員長・副委員長選出

- 6 説明事項
 - 1. 白井市紹介
 - 2. 白井市の給食の現状
 - 3. 桜台小中学校の給食
 - 4. 本検討委員会設立までの経緯
 - 5. 給食の方式
- 7 議事
 - 1. 今後のスケジュール
- 8 その他
- 9 閉会

検討委員会の目的と役割

【目的】 桜台小・中学校の児童・生徒に安全で安心な学校給食を効率的に提供するため

【役割】 桜台小・中学校の給食のあり方を調査審議し、教育委員会に提言をすること。

※あり方 自校式、親子式、センター方式などの給食の方式を考えること。

説明事項

1. 白井市紹介

千葉県北西部
東京・成田空港から30 km圏
面積：35.48km²

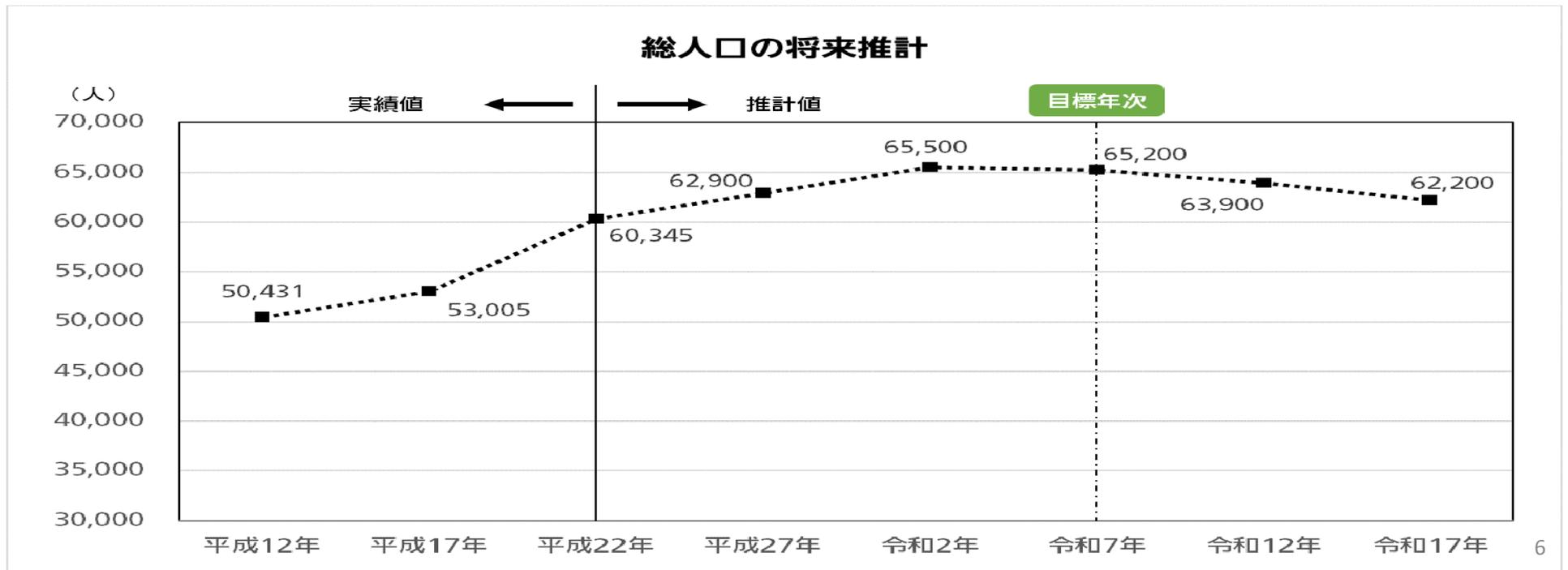


白井市の場所

白井市の人口

人口推計

基本構想の目標年度である令和7年の白井市の総人口は65,200人と推計しています。白井市の人口は、令和2年までは人口流入等により増加しますが、その後は減少に転じるものと見込まれます。





田園風景



今井の桜



千葉ニュータウンの街並み



第一、第二工業団地航空写真

白井市の公共施設

【主なもの】

- ・ 市役所庁舎、保健福祉センター、福祉センター
 - ・ 学校等 小学校9校、中学校5校、保育園3園
 - ・ 公民館等 7館（青少年女性センター含む）
 - ・ 文化センター（文化会館・図書館・プラネタ・郷土資料館）
 - ・ 運動公園、市民プール
 - ・ 道路：路線数1,271本、延長301km 舗装率84%
 - ・ 橋梁：73橋
 - ・ 上水道：延長約91km
 - ・ 下水道：管きょ延長（汚水：約165km、雨水：約63km）
公共下水道普及率：84.2%
 - ・ 公園：都市公園：70か所、42.4ha、都市緑地29か所5.7ha等
- 公共施設等総合管理計画の策定
公共施設等更新費用：40年間 778億円（上下水道を除く）

市役所を中心に広がる安心・安全！！

○千葉白井病院
一般病床52床
回復リハビリ48床

○介護老人保健施設
アモールケア白井
入所定員100名
通所定員25名

○介護付有料老人ホーム
ウズホク外千葉白井
定員120名

○白井聖仁会病院
一般病床68床
療養型病床124床

○特別養護老人ホーム
さつきの里
定員90名

○市役所
平成30年
印西警察署分庁舎設置

○保健福祉センター
市社会福祉協議会
ボランティアセンター

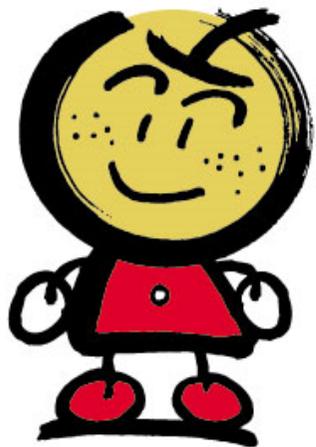
○白井消防署

○給食センター
調理能力 約6500食/日
かまどベンチ1
災害用トイレ兼マンホール1

○白井総合公園
災害時
かまどベンチ8基
災害用トイレ兼マンホール10基

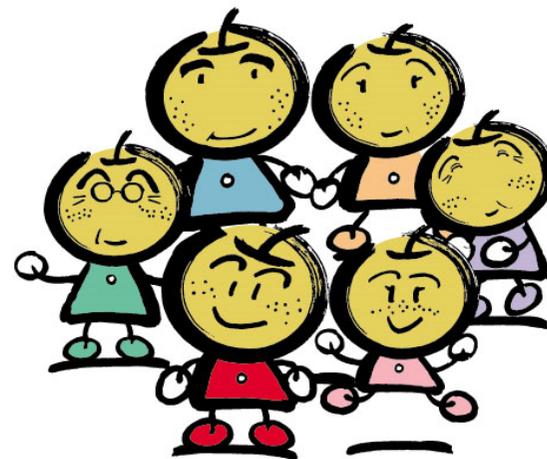
○富士地区へ都市公園
平成36年4月開園予定
仮称「富士公園」
12,725.41㎡
防災や交流など多機能公園

なし坊ファミリー(マスコットキャラクター)



ボクは白井のマスコットキャラクター、**なし坊**です。
平成7年に誕生し、公募で市民の皆さんに名前を付けてもらいました。ボクの家族は全部で6人で、
「かおり」「ゆたか」「さち」「ちょうじゅうろう」「たか」のように梨の品種から名前がついています。
白井の梨をはじめとする特産品の宣伝や、市のイメージアップなどをお手伝いしています。ボクたちを見かけたら、応援してね。

なし坊ファミリーは梨の**イメージキャラクター**として誕生しました。
白井の梨をはじめとする特産品の宣伝や市のイメージアップに使われています。



2. 白井市の給食の状況

- 昭和54年 白井市学校給食共同調理場（旧給食センター）開設
- 平成2年 池の上小学校開校（市内12校がセンター給食）
- 平成6年 桜台小学校・桜台中学校 開校
 - 旧給食センターの供給可能数を上回ったため
 - 旧給食センターからの距離が遠く、運搬に時間を要するため



自校式給食開始

- 平成31年 学校給食センター（新センター）開設

3. 桜台小中学校の給食

桜台調理場について

(1) 施設概要

①設立年度	平成6年4月1日
②面積	小学校 305m ² 中学校 261m ²
③構造	鉄筋コンクリート造平屋建
④調理能力 (当時)	小学校 1,000食/日程度 中学校 500食/日程度

(2) 食数及び給食費

①提供食数 (令和2年10月・最大食数)

小学校 405食 (児童数358人)

中学校 216食 (生徒数184人)

※児童・生徒数は令和2年5月1日現在

②給食費 (食材費)

小学校 4,900円

中学校 5,900円

(3) 経費・アレルギー対応

①年間運営費 約6千6百万円
(光熱費、人件費、委託料など)
(平成31年度決算)

②一人当たり 約1万1千4百円

③アレルギー除去食 卵の単純除去

※対象者 小学校 4人

中学校 1人

(4) 衛生管理について

- ① **学校給食衛生管理基準** (H9年策定、H21年改正)
- ② 施設の的には同基準を満たせないのはやむを得ないが、
運営面で工夫し安全な給食を提供

《学校給食衛生管理基準とは》

- O157の発生などを受け策定
- 平成21年4月1日の改訂では、調理する環境を清潔にする考え方に加え、原料の入荷から出荷までの各工程において、危害要因を取り除く考え方（HACCPの考え方）を導入

参考：衛生管理に関する基準の例

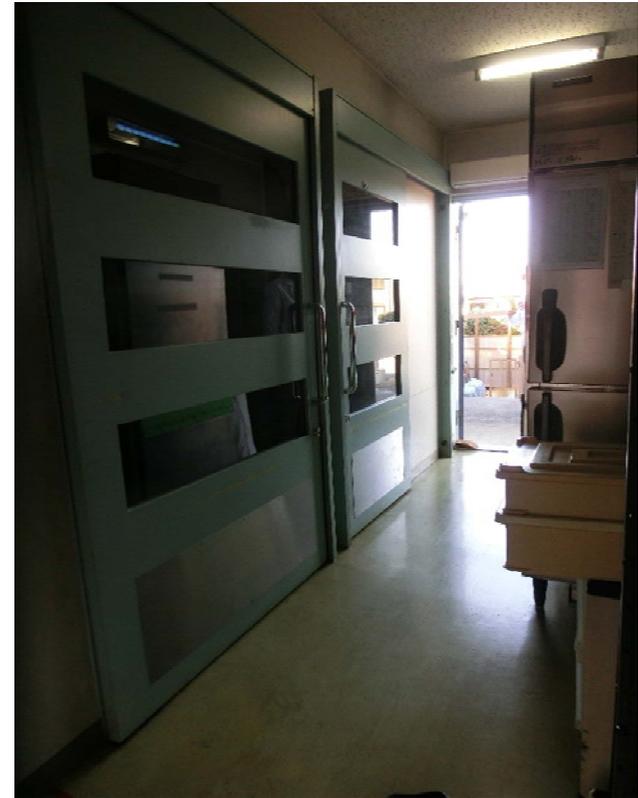
- ・調理前・洗浄エリア（汚染作業区域）と調理後エリア（非汚染作業区域）を部屋単位で区分
- ・学校給食従事者専用のトイレの個室の前に「調理衣の着脱所」の設置に努める
- ・食品をチェックする検収室が必要
- ・調理場内部の温度25度以下、湿度80%以下に保つよう努める
- ・床はドライシステムの導入に努めること、またはドライ運用を図ること

桜台小中学校の調理場



ラインにより作業区域を
明確にした運用

食材を確認する検収室
の代わりに廊下で作業



桜台小中学校の調理場



汚染作業区域と非汚染作業区域をラインにより明確化

ドライ式の床ではないが、徹底した清掃及びドライ運用



(5) 施設・設備の老朽化

- ① 26年が経過し、近い将来、施設・設備の改修が必要
- ② 衛生管理基準を満たす施設にするには増床が必須

※改修費については現在積算中

4.本検討委員会設立の経緯

・平成30年8月

「財政推計の見直しと財政健全化の取組」

財政健全化の取組項目（予定）

イ 公共施設等のあり方の見直し

【取組項目】

「桜台小・中学校の自校式給食の見直し」

【取組内容】

桜台小・中学校の自校式の給食調理場の老朽化に伴い、最新設備を備えた学校給食共同調理場へ移行します。

【桜台中学校区への説明】

- 平成30年12月
第1回桜台小中学校保護者説明会
- 令和 元年 9月
第2回桜台小中学校保護者説明会
- 令和 元年10月
第1回桜台小・中学校の給食に係る代表者会議
- 令和 元年11月
第2回桜台小・中学校の給食に係る代表者会議

<移行についての反対意見>

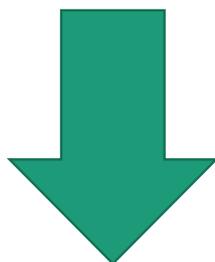
- 自校給食のよさ（おいしさ、あたたかさ、子どもたちの楽しみ、評判、魅力）
- 自校ならではの特色（バイキング給食、リクエスト給食）
- 食育（栄養士や調理員さんが身近、体験活動）
- 防災の面、災害時に役に立つ。
- センター給食に関するご意見（食材・温度等）
- 働いている方々への雇用について

<移行についての賛成意見>

- 衛生面がしっかりしていて安全とわかった。
- 財政状況や他校との公平性から仕方ない。

<条件付き賛成>

- 考える会を発足して見直していくほうがよい。
- 食育の継続を希望
- 維持費を優先的に子どもたちの活動に使ってほしい。



・令和元年12月令和3年度以降当分の間、現状のままとし、桜台小中学校の給食のあり方について改めて検討する。

(教育委員会議及び行政経営戦略会議にて決定)

白井市行政経営改革実施計画

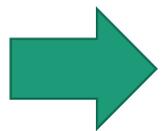
(平成30年2月策定)

- 基本方針 3

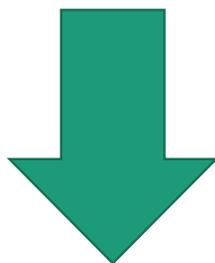
将来を見据えた公共施設の最適な配置

<これからの取組>

「桜台小・中学校については、施設・設備の老朽化や今後の学校規模等の状況を見ながら、安全で効率的な学校給食のあり方について、地域の意見等を踏まえた検討が必要となってくる。」



令和2年度を検討の開始としている



- 「白井市立桜台小学校・桜台中学校給食のあり方検討委員会」
設立
- 令和4年8月までには提言をいただきたい。

《参考》学校施設の長寿命化計画（令和2年8月策定）

- 1 現 状 市の公共施設の6割以上が学校施設
- 2 目 的
 - ・ 予防保全型の管理への転換
 - ・ 予算の平準化
 - ・ 中長期的な維持管理等のトータルコストの縮減
- 3 効 果 40年間で▲107億円を見込む
- 4 桜台小中 小学校 13 / 85施設
劣化順位 中学校 24 / 85施設
- 5 桜台小中 小学校 R 7年度大規模改修予定（築31年）
改修予定 中学校 R 10年度大規模改修予定（築34年）

《参考》学校施設の長寿命化計画（令和2年8月策定）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
桜台小		基本設計	実施設計	校改修	体改修			
桜台中					基本設計	実施設計	校改修	体改修
その他の学校	七中 校 七小 体	白中 柔 大中 柔 南山 柔	池小 校		池小 体 七中 柔 白中 校	白中 校		大中 校

* 校：校舎 体：体育館 柔：柔剣道場

5.給食の方式について

自校方式

- 配送時間が不要なため、調理時間に余裕
- 学校行事等に臨機応変に対応可能
- 運営コストが割高
- 労務管理や維持管理が煩雑

親子式給食

- 自校式の手作り感を意識することができる。
- 学校行事等に対応しやすい。
- 給食センターと比較して運営コストが割高
- 労務管理や維持管理が煩雑

給食センター方式

- 効率的な施設整備及び運営が可能となる。
- 管理体制の充実
- 配送時間を考慮した調理が必要
- 調理従事者と児童との接点が少ない。

デリバリー式

- 給食調理場建設のコストがかからない。
- 配膳の時間を省くことができる。
- 温かい給食の提供が難しい。
- 汁物の提供ができない。
- 児童生徒に応じた量の調節ができない。

議 事

今後のスケジュール

年 月	検討委員会	会議・議会等	
令和2年度	12	第1回検討委員会	本委員会の役割・給食の現状等
	1		
	2		
	3	第2回検討委員会	桜台、給食センター施設見学 意見調査の方法について
令和3年度	4		
	5		
	6	第3回検討委員会	桜台小または桜台中の給食試食 市の状況について
	7		
	8		
	9		
	10	第4回検討委員会	給食センターの試食 桜台地区の意見
	11		
	12		
	1	第5回検討委員会	桜台小中給食のあり方について検討①
	2		
3			
令和4年度	4		
	5		
	6	第6回検討委員会	桜台小中給食のあり方について検討②
	7		
	8	第7回検討委員会	提言まとめ